

## 参 考 1

「いきいきあいち スポーツプラン～豊かなスポーツライフの創造～」

の概要

# 「いきいきあいち スポーツプラン～豊かなスポーツライフの創造～」の概要

## 1 計画策定の背景

- 平成15年に、豊かで活力に満ちた「スポーツ愛知」を実現するため、「スポーツあいち さわやかプランー21世紀の豊かな生涯スポーツ社会を築くためにー」を策定し、スポーツの推進を図ってきた。
- その結果、国民体育大会における総合成績上位入賞や、学校体育・地域スポーツの充実、指導者の養成、ドーピング防止活動の推進など、計画全体の目標のおよそ8割が達成できた。しかしながら、成人の週1回以上のスポーツ実施率や総合型地域スポーツクラブの創設目標、子どもの体力の向上などについては、計画に掲げる目標に達したとはいえない課題もある。
- 近年、少子高齢化や核家族化、地域社会における人間関係の希薄化が進行しているほか、情報化や急速なグローバル化に伴う雇用環境の変化など、人々を取り巻く社会環境は急激に変化している。
- そのため、精神的なストレスの増大や運動不足による生活習慣病の増加、コミュニケーション能力の低下などさまざまな問題が出てきており、心身の健康の保持増進とコミュニティの形成が大きな課題となっている。  
一方では、価値観やライフスタイルの多様化が進み、暮らしの中にゆとりや潤いといった心の豊かさを求めようとする意欲が高まっている。
- こうした社会状況において、スポーツは、人々に大きな感動や楽しみ、活力をもたらすとともに、私たちの「こころ」と「からだ」の健全な発達を促してくれるものであり、明るく豊かで活力に満ちた社会を形成する上で欠くことのできない存在である。
- このような中で、前プランが平成24年度をもって終期を迎えることから、前プランの理念を引継ぎながら、スポーツを取り巻く課題や変化する社会の動向を見極め、さらに愛知のスポーツを推進していくため、本県が今後取り組むべき方向を示す新たな計画を策定することとした。

## 2 計画の位置づけ

この計画は、スポーツ基本法第10条第1項に規定する「地方スポーツ推進計画」として位置づける。

## 3 計画の趣旨

県民一人一人がそれぞれのライフステージや興味・関心等に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しみ、活力ある「スポーツ愛知」を実現するための基本的な方向性を示すものである。

## 4 計画期間

平成25年度（2013年度）から平成34年度（2022年度）までの10年間。  
中間年となる平成29年度（2017年度）に内容を見直す。

## 5 計画の基本施策

### 1 学校と地域における子どものスポーツ機会の充実

子どもの体力は、体力水準が高かった昭和60年頃と比べると低く、近年、積極的にスポーツをする子どもとそうでない子どもの二極化が顕著になっている。

また、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」によると、本県の児童生徒の体力・運動能力は、全国平均値を下回る傾向にある。

そこで、子どもが幼児期から運動に親しむ習慣を身に付け、体力を高められるよう学校や地域において体育・スポーツの充実を図るとともに、スポーツ環境の整備に努め、今後10年以内に子どもの体力が昭和60年頃の水準を上回ることを目指す。

主な取組の柱	主な取組の方向
幼児期からの運動習慣の確立	保護者への啓発活動の推進、幼稚園や保育所などにおける身体活動環境の整備、地域における遊び場の有効活用
学校と地域における子どもの体力向上への取組	小学校体育活動コーディネーターの派遣体制の整備、学校と地域スポーツ関係者との連携促進、学校体育施設の充実
教員の指導力の向上と外部指導者の効果的活用	教員の資質向上を図る研修会・講習会の充実、外部指導者の効果的活用

### 2 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

県民の誰もが年齢や体力、興味・目的などに応じて、いつでも、どこでも、いつまでも安全にスポーツに親しむことは、明るく豊かで活力に満ちた社会を形成する上で、必要不可欠である。

このような観点から、障害者スポーツの普及・啓発を進めるとともに、スポーツ実施率の低い働き盛りの世代や子育て期にある女性のスポーツ参加機会の拡充に努め、成人の週1回以上のスポーツ実施率を60%、成人のスポーツ未実施者（1年間に一度もスポーツをしない者）がゼロに近づくことを目指す。

主な取組の柱	主な取組の方向
若者をはじめとした成人のスポーツ参加機会の拡充	家族で参加できるスポーツ教室や特定の年齢層・性別等をターゲットにしたスポーツイベント等の開催、スポーツ実施率の低い働き盛りの世代や、子育て期にある女性のスポーツ参加機会の拡充
障害者のスポーツ活動の推進	障害者スポーツ大会・スポーツ教室の開催及び支援、障害者スポーツ指導員の養成
スポーツにおける安全の確保	スポーツ施設やスポーツ用具の安全性の確保、スポーツ外傷・障害や熱中症の予防、各スポーツ施設へのAEDの設置及び救命救急訓練の開催

### 3 住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備

本県では、総合型地域スポーツクラブと企業、大学等が連携して地域スポーツの普及・発展を推進する取組が行われるようになってきている。

このような中、行政だけでなく、県民、NPO団体、スポーツ団体、学校、企業などが積極的にスポーツ活動にかかわり、共助の精神で活動を行う「新しい公」を推進し、生涯スポーツ社会の実現を目指す。

主な取組の柱	主な取組の方向
総合型クラブの育成支援	総合型クラブが市町村コミュニティのスポーツの核となるよう育成・支援、NPO法人格取得を促進、未設置市町村のクラブ創設への継続的支援
子どものスポーツ環境の充実に向けた総合型クラブと学校との連携	子どもの運動遊びやスポーツする場づくりの推進、総合型クラブと学校が協力した、子どもの体力づくりの推進
地域スポーツと企業・大学等との連携・協働	地域スポーツ人材の養成に関する企業・大学との連携・協働、「スポーツ界における好循環の創出」など、総合型クラブの可能性の検討

### 4 競技力の向上を目指す取組の推進

国際競技大会、国民体育大会、全国障害者スポーツ大会などにおける本県選手の活躍は、県民に大きな感動を与え、スポーツへの強い関心を高める原動力となる。

競技力の高い選手を有する複数の企業や大学、競技団体等との連携を図り、施設・設備の充実を図りながら、活力ある「スポーツ愛知」の実現を目指した競技スポーツのさらなる普及・推進に取り組む。

主な取組の柱	主な取組の方向
ジュニア選手の発掘・育成・強化	一貫指導の理念に基づく強化システムの構築、スポーツ指導者、スポーツ団体、保護者、学校等との連携、学校部活動との連携強化
トップアスリート(チーム)の強化・連携・活用	トップアスリートの強化支援、トップアスリートの国民体育大会への派遣、所属企業等との連携促進
国際競技大会等の開催	国際競技大会等の招致・開催の推進、スポーツを通して県民の夢と希望を育み、地域を盛り上げることができるようなスポーツイベントの企画と立案

## 「いきいきあいち スポーツプラン」の概要図

